

# 畑かん営農情報

③



## 大崎町で行った畑かん営農試験の情報です

- ①実証団地 大崎町 永吉・谷迫
- ②実証課題 不知火（デコポン）の水利用効果について
- ③目的 かん水により減酸を早め、良質の果実生産を実証する。

### ④実証実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業体系										収穫 剪定		屋根 かけ
水利用実績	4回 40 t	4回 40 t	4回 40 t	5回 50 t	5回 50 t	4回 40 t	3回 30 t	3回 30 t	3回 30 t			

### ⑤実証内容

- ア) 品 種 不知火（デコポン）
- イ) 収 獲 日 平成14年1月25日
- ウ) かん水方法 定置配管  
(自動定流量停止弁)



### ⑥調査結果

果実分析結果

調査日	実 証 区			対 照 区		
	果実横径	糖 度	クエン酸	果実横径	糖 度	クエン酸
11月20日	86.2 mm	10.8度	2.75 %	84.6 mm	11.1度	1.98 %
11月30日	90.4 mm	10.6度	2.07 %	87.1 mm	11.4度	1.80 %
12月12日	87.9 mm	11.9度	2.15 %	84.6 mm	12.0度	1.82 %
12月26日	91.9 mm	11.5度	1.41 %	85.5 mm	11.5度	1.50 %
1月7日	81.2 mm	13.0度	1.28 %	79.6 mm	12.9度	1.44 %
1月22日	88.7 mm	12.2度	1.10 %	81.5 mm	12.8度	1.20 %

### ⑦考 察

クエン酸については、実証区は対照区に比べて調査期間内における減少幅が大きく、かん水の効果があると思われる。

糖度については、実証区は対照区に比べてばらつきはあるものの、大きな影響はないものと考えられる。

不知火は糖度が高く食味もよいが、クエン酸が下がりきらない欠点がある。糖度上昇に課題は残るが、かん水によるクエン酸の低下を促進できたことは、今後の不知火生産に期待が大きいものと思われる。

また、不知火は樹勢低下が著しいため、かん水による樹勢維持効果も期待できると思われる。